

2026年度 学校法人 滋慶学園 北海道エコ・動物自然専門学校 学校関係者評価委員会 評価結果および改善方策

学校関係者評価委員会実施日：2026年 5 月 25 日 10時00分～12時00分

評価委員：(順不同、敬称略) 白倉慶大 片桐有香子 神田大介 武石明菜 伊藤麗

2025年度自己点検自己評価(2025年4月1日～2026年3月31日)による

【理念・運営目標】	北海道エコ・動物自然専門学校は、職業教育を行う高等教育機関として、職業人教育を通じて社会に貢献するミッションを持ち、3つの建学の理念「実学教育」「人間教育」「国際教育」を通じ業界に直結した職業人の育成をするとともに、4つの信頼「学生・保護者からの信頼」「高等学校からの信頼」「業界からの信頼」「地域からの信頼」を得ることを目指している。北海道恵庭市の環境を活かし「動物と共に学ぶ学校」をコンセプトに、高い就職実績を実現し、道内はもちろん、全国から支持される学校を目指す。
【組織目的】	動物に関わる豊富な学習環境を特長とし、「動物と共に学ぶ学校」として、人と動物を繋ぐ人材を育成します。また、その環境を活かし、学外の方にも動物に関わる学びを提供していきます。そのことで、人と動物が共生する豊かな社会創りに貢献します。
【運営方針】	1. 「動物と共に学ぶ学校」としてのブランド構築 2. 恵庭だからできる学び 3. 授業の質向上に取り組む

項目	関係資料コンテンツ	点検項目	2025年度自己点検	2026年度 重点目標	2025年度自己評価採点	2026年度委員会評価(平均)	白倉	片桐	神田	武石	伊藤	学校関係者評価委員よりの御意見
					【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	【3段階評価】 3: 出来ている 2: 概ね出来ている 1: 出来ていない	
1 教育理念・目的・育人人材像		1-1 理念・目的・育人人材像は定められているか	本校を設置する学校法人は、「職業人教育を通じて社会に貢献すること」をミッションとしている。ディプロマポリシーを学校として明確に定め、「動物福祉」「環境保全」に関する知識を基盤とし自ら学び続ける意欲を持った人材育成を目指している。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		1-2 学校の特色は何か	「動物と共に学ぶ」というコンセプトのもと、学内動物園やパートナー犬制度など、全国的にも稀有な学習環境を整えている。また、資源活用事業「ECO-Academy」を運営している。トリミングサロンは順調に利用者が増えている	国家試験合格率と就職率をより上積みしていきたい。	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		1-3 学校の将来構想を掲げているか	常に5年先を見据えた5か年計画を策定し、社会の変化に合わせて、教育・運営の両面から学校の将来像を描いている。動物分野の学校において、ブランド化を目指している。	2026年度は5か年計画の最終年に当たるため目標を完遂できるようにする。	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
2 学校運営		2-4 運営方針は定められているか	市場のニーズと学校の課題を捉えた上で、運営方針を定めている。それを毎年の実行方針や目標に具体化している。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		2-5 事業計画は定められているか	本校の事業計画は毎年8月ごろから作成、定めている。合わせて収支計画も作成し、学校の中長期的な財務基盤の安定に努めている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	月に一度の全スタッフ参加の全体会議と各学科会議と交互に実施し、学内コミュニケーションが円滑な意思決定をしており、効率を図っている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		2-7 人事や資金での処遇に関する制度は整備されているか	学園全体の整備された制度下で運営している。人事評価等に関わる学校やチームの目標は全体会議等においてマネージャーと議論の上で決定している。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		2-8 意思決定システムは確立されているか	全体会議を開催し、教育、広報、就職、予算等の問題解決している。また朝礼・終礼時に必要であれば協議し、日々発生する諸問題解決を迅速に行っている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	学生・教職員の個人情報管理は業務システムで行っている。また、「サイボウズGaroom」による学内コミュニケーション、異議、出張、外勤のシステム等を整備し、効率化を図っている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	

項目	関係資料 コンテンツ	点検項目	2025年度自己点検	2026年度 重点目標	2025年度 自己評価採点	2026年度 委員会評価 (平均)	白倉	片桐	神田	武石	伊藤	学校関係者評価委員よりの御意見
					【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 2:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 2:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 3:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 4:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 5:出来ていない	
3 教育活動		3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	各学科にディプロマポリシーをしっかりと定め、業界のニーズに対応出来る人材育成に取り組んでいる。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	前期・後期のステップに分けて段階を追ってスキルを上げて行ける様にシステムを構築している。学外実習においては選択科目化や提携先の再選択も取り入れ、公平な評価に努めた。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	各学科の特徴を生かし、その学科のディプロマポリシーを基に作成したカリキュラムポリシーに沿って、体系的に編成されている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	カリキュラムポリシーや卒業時の到達目標に向けて、科目の繋がりを意識しそれぞれのカリキュラムが適正に位置付けされている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	キャリア形成を目的にオープンキャンパス・入学前教育を行い、在学中はキャリア設計を意識したカリキュラムに沿って授業が展開され、卒業後はキャリア開発が出来るようにサポートを実施している。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか	学生に直接意見を伺う「座談会」を行い、忌憚のない意見をいただいた。また授業や科目のイベント等に個別のアンケートを実施し、評価を頂いている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	業界で実務経験を積んだ卒業生からの教員、現場で現在も活躍する教員を確保している。それぞれの講師が意見交換などの交流を行う場を設け、教育の質向上を図っている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	教育システム改革センター主催の研修等を行うことで、教育能力の向上に努めている。また滋慶学園グループ内の同業種養成校と積極的に研修、情報交換を行い、専門性を向上させている。また各教員はさらなる専門技術等の向上を図るため、学外の学会等に参加している。時間の調整がつかない場合はオンラインセミナー等を積極的に参加している。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-18 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	教育指導要領に記載されている学則、細則に定められている規定に沿って適正に評価している。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		3-19 資格取得の指導体制はあるか	取得目標としている資格は、その業界で仕事をする上で重要な資格である為、希望者全員が資格取得が出来るように受験対策を行っている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
4 学修成果		4-20 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	求職者就職率は100%(102名就職/102名希望)、専門就職率は76名(74.5%)という結果だった。	就職率をより上積みしていきたい。	2.0	2.8	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	
		4-21 資格取得率の向上が図られているか	資格取得の為に必要な支援講座を行っている。受験学生の状況に合わせながら受験指導内容を検討し改善を行っている。また今年度は警察犬指導手試験に学生2人(昨年度7人)が任命。2頭(8頭)の犬が順託警察犬に合格した。また災害救助犬認定試験にも学生と犬のペアが5人(昨年度6人)合格した。	特に愛玩動物看護師資格対策は今年度の状況を省みて改善を行う。(25名受験 21名合格 合格率84%(昨年度86.6%) 国家試験合格率をより上積みしていきたい。	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		4-22 退学率の低減が図られているか	中途退学に対して目標を掲げ対策に取り組んでいる。メンター制度や選択授業制度等、学習制度を改革した。またスクールカウンセラー等とも協力し、退学防止に努めており、3年連続で退学者率は低減している。2025年度の退学者は16名であった。	引き続き、退学率の低減を図りたい。	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		4-23 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	産学・高専連携センターが卒業生の活躍がプレスリリース等されている様子をスクラップし共有している。また2025年度はアジリティー大会で日本代表として参加した卒業生があり、入学式で新入生に対し披露した。	次年度も活躍している卒業生を積極的に把握し、入学希望者、在校生、同窓生に周知を図りたい。また講師も積極的に活躍する卒業生を登用したい。	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	

項目	関係資料 コンテンツ	点検項目	2025年度自己点検	2026年度 重点目標	2025年度 自己評価採点	2026年度 委員会評価 (平均)	白倉	片桐	神田	武石	伊藤	学校関係者評価委員よりの御意見
					【3段階評点】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評点】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評点】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評点】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評点】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評点】 3:出来ている 2:概ね出来ている 4:出来ていない	【3段階評点】 3:出来ている 2:概ね出来ている 5:出来ていない	
5 学生支援		5-24 就職に関する体制は整備されているか	産学・高専連携センターは厚生労働大臣へ届出による「無料職業紹介事業」を行っている。また就職への動機づけ授業、就職に向けた面談、履歴書添削、面接試験対策、求人開拓や、学内外の企業説明会の開催・参加の案内をして学生の業界理解に努めている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		5-25 学生相談に関する体制は整備されているか	メンター制を導入し、学生の相談は内容に応じて各教員が対応することで行き詰まりが無いようにしている。また必要に応じてSSCへ繋げて、より深いカウンセリングを受けられるように対応している。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		5-26 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	学費は原則一括納入ではあるが、個々の家庭の状況を鑑み、それぞれに合わせたプランの提案を実施している。また日本学生支援機構の奨学金利用等、公的支援制度への相談体制ができています。奨学金利用の説明についても丁寧に実施している。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		5-27 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	健康診断をはじめとして学校保健法に規定するコンプライアンスは遵守している。特に医療法人慶心会による健康管理体制により、健康診断とその再検査も実施している。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		5-28 課外活動に対する支援体制は整備されているか	課外活動について、学生からの要望等に対して柔軟に支援する体制を整えている。また動物愛護月間(9月)の各地区のフェス等に学生と共に参加。地域イベント「黄金フェス」に参加するなど地域貢献を希望する学生への支援や、学術学会への参加支援も行っている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		5-29 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	寮については学園グループ企業が4棟を有しており、地方からの学生にも対応できる体制となっている。寮には寮長が在駐し健康管理、生活指導を行っている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		5-30 保護者と適切に連携しているか	入学式、卒業式時に保護者会を実施している。また、学生さんに課題が発生した際には連絡をするなど、積極的にコミュニケーションをとっている。また、学校生活の様子はSNS等で発信している。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		5-31 卒業生への支援体制はあるか	動物看護師の国家資格化に伴う受験申し込みなどにかかる業務を、卒業生の個々の状況に応じた対応を行った。また就職あっせん等もしている旨周知している。滋慶グループの関連企業による「Jキャリアスクール」を展開し、リカレント教育を希望する社会人や企業、同窓生対象の講座を約700講座を用意している	今年度は、2年後の開校25周年記念同窓会開催に向けて同窓会の企画や名簿精査などの準備をしていきたい。	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
6 教育環境		6-32 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	各教室・実習室に必要な教育機器を配置している。また2025年度は玄関前の路面舗装の修繕、学生ホールの新設、トイレ備品の改修などの環境整備を行なっている。	更なる環境整備に力を入れていく。	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		6-33 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	学外実習については、国内研修を充実させており、全国の著名な動物園や水族館の訪問や、保護施設の訪問、道外の大規模アジリティ大会、トリミングコンテストの参加など、学習の動機付けや基礎とし、学んだことを背景に学生たちの気付きを促すよう企画している。また海外研修も数年ぶりに実施した。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		6-34 防災に対する体制は整備されているか	防火管理者をはじめとして、環境安全衛生管理者、衛生管理者、環境管理者、安全管理者による管理体制を敷いている。年に1回環境整備関連会社の協力のもと防災訓練を実施。AEDは各校舎設置しており、定期的な救急時における知識の習得と意識付け研修も行っている。また、学生・教職員ともに災害時の安否確認システムに登録し有事の際の備えも行っている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	

項目	関係資料 コンテンツ	点検項目	2025年度自己点検	2026年度 重点目標	2025年度 自己評価採点	2026年度 委員会評価 (平均)	白倉	片桐	神田	武石	伊藤	学校関係者評価委員よりの御意見
					【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	【3段階評価】 3:出来ている 2:概ね出来ている 1:出来ていない	
7 学生の募集と受け入れ		7-35 学生募集活動は、適正に行われているか	学生募集活動は、北専各連の定める募集基準に則り、総合型選抜試験エントリーは6月から、出願は9月から、その他の受験方法による出願は10月から受け付けている。募集要項に関しては、学費を全額表示するなど、受験生にとってわかりやすく掲載している。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		7-36 学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	「動物と共に学ぶ学校」教育、そしてその結果としての卒業生の実績等を、入学案内、WEBページ、SNS等を通じて積極的に発信している。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		7-37 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか	入学選考は入学試験規定を定め、これを運用している。合否についても入学選考規定に則る入学合格判定会議を実施し、公平、厳正に実施している。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		7-38 学納金は適正かつ妥当なものとなっているか	学納金は適正かつ妥当なものと考えており、その納付金額、方法に関する情報も適正に発信を行っている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
8 財務		8-39 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2025年度予算建て及び予算を計画通り適切に執行することができた。次年度もより良い教育環境が提供できるよう努めたい。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		8-40 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	計画的な収支計画・事業計画を作成し、適正な予算執行を行っている。学内では各学科での予算作成と予算執行を行っており、部署毎で適正に予算の運用を行っている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		8-41 財務について会計監査が適正に行われているか	グループ企業により書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓が出来ており、毎年行う監査法人の行う内部監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、問題ない。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		8-42 財務情報公開の体制整備はできているか	公認会計士による監査と監事による監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会においてその報告をしている。また、webサイト上で情報公開ページを用意し、財務情報の公開を行っている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
9 法令等の遵守		9-43 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	法令や設置基準の変更等に伴う申請手続き等を迅速に対応できる体制づくりを行っている。教員間での法令・基準の遵守に対する教育を継続的に実施している。また毎年の監査によりコンプライアンスの実施状況についてチェックしている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	・在学中に業界ギャップが最小限になる取り組みをより強めていただきたい。(白倉)
		9-44 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	学生、保護者、企業、講師、入学希望者についての個人情報保護について、同意を取り付けたうえで、規定に則り運用を行っている。教職員に向けて取り組みとして個人情報研修会を実施している。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		9-45 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	自己点検・自己評価についての方針、実施を開始し、委員会の形成と外部評価を実施している。学校関係者評価、並びに教育課程編成委員会での意見を十分に反映し、高等教育機関の制度変更への対応も行っている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		9-46 自己点検・自己評価結果を公開しているか	毎年自己点検・自己評価を実施し、webサイトによる公開を実施している。自己点検自己評価結果をもとに重点課題について学校関係者評価員と学校づくりの検討を行い更なる評価の向上に努めている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
10 社会貢献・国際交流		10-47 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	学校犬と学生の囀託警察犬の登録、各地域の動物愛護フェスティバルへの出展、保護猫の譲渡活動支援、ペットフェスティバルのボランティアスタッフ参加、学校犬と学生の災害救助犬登録など様々なボランティア参加と社会貢献を行ってきた。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		10-48 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか			3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
		10-49 グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	動物医療飼育学科は2025年度よりシンガポール研修を復活させた。他学科については海外研修等でグローバル人材の育成を企画しているが、世界情勢の不安定化や急激な円安により、都度開始時期を検討している。それらの動向を注視し、いつでも再開、実施できるよう、準備を整えている。		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	・専門学校の強みを最大限様々な面から貢献できる組織構築を期待したい。(白倉)